

令和7年7月18日

市政記者クラブ 様

環境局環境企画部
担当課長 鶴原 聡
Tel:831-8104

名古屋市内での特定外来生物「アルゼンチンアリ」の初確認について

令和7年7月3日に港区内で発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、特定外来生物である「アルゼンチンアリ」と確認されました。本市でのアルゼンチンアリの確認は、初めてとなります。これを受けて本市では次のとおり対応してまいります。

1 発見場所

名古屋市港区金城ふ頭2丁目地内

2 今回確認されたアルゼンチンアリについて

令和7年7月3日に実施したアリ類の調査において、形態や動きの素早さからアルゼンチンアリの疑いがある個体が発見されました。そのうちの数十個体を採集して専門家に同定を依頼したところ、アルゼンチンアリであることが確定しました。

調査地点の周辺に定着・繁殖しているかについては、今後詳細な調査を実施予定です。

3 本市の対応

(1) 調査

- ・発見場所において目視による緊急点検を実施しました。

(2) 周知

- ・市公式ウェブサイトにおいて、広く市民への情報提供と注意喚起を行います。

(3) 防除

- ・環境省や愛知県など関係機関と情報共有を図り、正確な分布状況の把握に努めるとともに、管理者とも連携しながら、薬剤などによる適切な防除を実施し、定着や生息域の拡大防止に努めます。

4 アルゼンチンアリについて

(1) 特徴

体長約2.5mm、黒褐色の小型のアリで、他のアリ類に比べて、非常に動きが素早いのが特徴です。多女王性で分巢によって分布を拡大すると言われています。

(2) 被害

本種に毒性はありませんが、在来アリ類を駆逐することから生態系への影響が心配されます。また、建造物や機械類の隙間に侵入することがあります。

(3) 防除

市販の薬剤を用いた防除方法や根絶事例があります。

○本種の基本情報については「国立環境研究所 侵入生物DB」をご参照ください。

<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60090.html>